

# わいわい組

身体的な発達と自己とのかかわり

# 1・2・3月

わらす組の生活(ルールやルーティーン)に慣れ、

排泄や身支度など自分でできることを増やしていく

一人でできることや協力してできることが楽しくなってきました



みんなに好きなゾーンを聞く人とゾーン表を動かす人に役割分担して楽しめます!



気持ちを立て直しながら、自分のことは自分でやろうとする意欲が強まり、自分のこともわかってきました。

日々の生活の中で、子どもたちは少しずつ「自分でできること」を増やし、成長してきました。

最近では、身支度や活動の準備において、自ら進んで取り組む姿が増えてきました。みんなで話し合う機会を持つことで、見通しを持って行動できるようになり、やる気につながっています。また、「やりたくないな」と感じる場面でも、友だちや保育者と一緒に考えることで、気持ちを切り替えて取り組もうとする姿が見られるようになってきました。

外へ出かける準備や帰る際の身支度では、時には気持ちが崩れたり、「やりたくない」と思うこともあります。友だちの助けや支えを借りながら、自分にできることを考え、取り組もうとする姿が増えていきます。少しずつ気持ちの切り替えもスムーズになり、活動へのメリハリを持ちながら参加できるようになってきているのも、大きな成長です。

自分の好みや自分の事を自分が一番わかっているといった自己認知の芽生えがみられ、その子らしさが私達にもわかるようになってきたこの一年。

今後も子どもたちの「やってみよう」という気持ちを大切にしながら、自信を持って取り組める環境を整えていきたいと思っています。

らんらん組とすいすい組のお姉さんお兄さんの姿を見

たいかかわりを持ったいしながら、あこがれを持って生

活していく



子どもたちの中で、「一緒に過ごしたいお友だち」ができ、その存在が安心感や信頼感につながるようになってきました。

遊びの中で、お互いに手伝ったり、協力して何かを作ったり、真似をしながら楽しむ姿が増えてきました。困ったときに助けてもらったり、支えてもらうことで、「頼れる存在」としての関係が生まれています。

好きなお友だちとの関わりを大切にしながら、子どもなりの人間関係を築いている様子が見られます。

一緒に何かをする仲間と安心感を深めつつ、他者へ信頼が育ってきました



鬼ごっこなどのルールのある遊びを好み、遊びの中でルールを理解し、守ることを学ぶようになってきました。役割の交代を理解し、順番が来たら自分なりに役割を演じる姿が見られます。

友だちの遊びを観察しながら、「これはまだ難しいな」「こっちの遊びの方が楽しそう」と、自分なりに活動を選択することも増えてきました。

友だちの存在を意識しながら、遊び方を工夫したり、集団の中での自分の立ち位置を考える力が育まれています。

これからも、子どもたちが安心して友だちと関わり、遊びの中で成長していけるように見守っていきたいと思います。

わいわい組

精神的な発達とものの世界とのかかわり

1・2・3月

戸外、室内遊びの中で、「やりたい！」から

様々な体験、経験をしていく

社会のルールを学びながら自分のやりたい世界が広がってきました



「これをやってみたい!」「この道具を使ってこうしたい!」といった、自分の考えを形にしようとする姿が増えてきました。しかし、それを実現するために必要なルールや約束ごとにはまだ意識が向きにくい様子もあります。

1月～3月の間では、電車での活動などを通して、集団の中での振る舞いや、社会の中での約束事に少しずつ気づく場面が増えてきました。こうした経験を通して、「自分のやりたいこと」と「周りとの関わり」を両立させる力が育ってきています。

新しいことに挑戦する中に、自分で考え工夫して試す姿が目立ってきました



子どもたちは、新しいものに会おうと「この場所では何ができるんだろう?」と考え、好奇心を持って関わろうとします。

ひとつの遊びや課題を提示すると、そこから試行錯誤しながら工夫する力が育ち、さまざまな方法で遊びを発展させる様子が見られます。また、その遊びや課題が自分たちに合っている(好み)と感じると、長い期間にわたって取り組みながら、さらに発展させていく姿もあります。自分たちで考え、試し、発明しようとするこの力は、新しいことに挑戦する楽しさや、自ら学び続ける姿勢につながっていく芽生えがでてきました。

今後も、子どもたちが安心して自分の思いを表現し、遊びや経験の中で成長していけるよう、見守りながら環境を整えていきたいと思えます。